治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
山形県本部第三十六回大会

県本部結成三十五周年、県民に根ざした同盟運動の前進を！

大会要項

◇7月30日(土)　午前10時30分～午後4時　(受付10時から)
◇山形市男女共同参画センター「ファーラ」
山形市城西町2-2-22

第1部　学習講演「転換期を迎えての同盟運動と組織建設」
講師　中央本部新会長(予定)

第2部　第36回大会議事
1、山形県本部活動報告と活動方針（案）
2、規約一部改正（案）
3、2021年度収支決算報告・監査報告、22年度予算(案)
4、2022年度県本部役員選出

▼国会請願に参加して(菊池喜英)2頁　▼「わが青春つきるとも」山形上映会 2頁　▼山形県本部第三十六回大会議案 3頁　▼映画「わが青春つきるとも」の感想 7頁

◆各支部の大会代議員数は県本部規約第六条により5月20日の県本部理事会で下記のように決定しました。( )内は代議員数<県常任理事含む>

山形(7)、鶴岡田川(5)、酒田(4)、天童(2)、米沢(3)、
上山(2)、西村山(4)、北村山(2)、東置賜(3)、西置賜(2)、

◆「大会議案」は3頁参照(ご意見のある方は、県本部または支部事務局、代議員までお寄せください。)

不屈

「不屈」No.576付録
山形県版 No.394
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
山形県本部
〒994-0073
天童市寺津263
瀬野幸男方
TEL. FAX.
023-654-3255

私たちの運動の基本
ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
①治安維持法体制の復活に反対する。
②国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法であったことを認めること。
③国は、治安維持法犠牲者に、謝罪と賠償を行うこと。

国会請願に参加して

上山支部　菊池 喜英

5月11日、瀬野県本部事務局長と共に、久し振りの国会請願に参加しました。故島津昭会長(当時)と同道して以来のことです。

運動として求めることは変わらずとも、衆議院第一議員会館を会場に結集した全国の同盟の方々は、意気軒昂でありました。山形班には、横浜の宗形麻子さんも加わり(※)、三人で行動、最初に高橋千鶴子衆議院議員(写真上)を訪ね、署名を渡し、記念写真を撮り、「今、明日の質問準備で時間がないの！」とのことで退室。

参議院では、岩渕友議員から、会議中で会えず秘書の方に要請。芳賀道也議員(写真上)は待っていてくれた。署名を渡し、紹介議員要請後記念撮影。お茶を出していただき懇談、「食料不足が現実になるもとで、農業重視の政治、食料自給率を高める政治を求めたい」「少子化は自公政治の結果責任である」ことも話した。

舟山康江議員、会議中で秘書対応。会えれば伝えたいことがあったのだが残念。「総評は山岸が体制側に売り解体された、連合として形はあるが、斗わない無労働組合になり、労働者・国民にとってどれだけの損失をもたらしたか計り知れない。今、国民民主党の玉木代表は政権に寄ろうとしている、自民党は参院選後、与党化をもくろみ、労働組合の一部を取り込もうとしているとの話がある。自動車総連、電気連合、電力総連、UAゼンセン等である。一つには革新の分断、二つには自民になびかせようとしているとされる。この事態を玉木代表と舟山議員は、自らの政権入りと、国民への責任をどう考えているのか」を問いたかったのです。

要請行動の後、三時から報告集会がもたれた。署名運動は全国各地で地道に進められていること、運動には一定の前進がみられることが、各県代表から表明されていました。

※今年度もコロナ禍により全県から参加とはならないため、複数の県が班を編成して一緒に行動した。

「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」

山形上映会に300人ー上映終了後拍手起こる

5月28日、山形県生涯学習センター「遊学館」ホールにて、上映運動村山地区実行委員会主催で県内最初の上映会を開催。3回の上映で300人が鑑賞しました。上映に先立って、高木紘一実行委員長、日野一春副委員長があいさつ。125分の上映、大きな画面に映し出された映像に食い入るように見入り、涙を流す方も目立ち、上映終了後に会場から拍手が起こりました。

81人から「とてもよかった」「伊藤千代子を初めて知った」「信念を曲げずに頑張ったひとがいたから今がある」「参院選前に観られてよかった」等々のアンケート・感想が寄せられました。また、映画の原作『時代の証言者　伊藤千代子の生涯』(藤田廣登著)25冊、漫画『伊藤千代子の青春』(ワタナベ・コウ著)10冊が販売されました。

山形県本部第三十六回大会活動報告と活動方針(案)

一、本大会の任務

21年度の活動は前年度に引き続きコロナ禍で行動が制限されました。さらに、高橋会長をはじめ県本部、支部指導部の相次ぐ体調不良による入院・療養等で、活動全体が困難な中で進められました。

県同盟結成35周年を迎え、激動する情勢に立ち向かう同盟建設、取り分け指導部の世代継承が求められています。本大会をその出発点にしようではありませんか。

本大会の主な任務は、次の通りです。

第一は、21年度の活動の成果と課題を明らかにし、第40回全国大会を受け、県民に根付いた同盟運動に前進させる活動方針を確立することです。

第二は、これらの実践の先頭に立つ県本部の役員を選出することです。

秋には置賜、北村山、鶴岡、酒田の各地区で上映が計画されています。参院選後の情勢の中で新たな意義を持つ上映運動として、多くの鑑賞者を広げるため今から準備をすすめましょう。

※「感想文」7頁参照

二、情勢と課題

世界は今、新型コロナウイルスとロシアによるウクライナ侵略によって大きく変わろうとしています。日本では安倍・菅政治を引き継ぐ岸田政権下で、ウクライナ侵略に乗じて、「敵基地攻撃能力の保有」・大軍拡、「憲法9条改悪」、さらに維新が扇動する「核共有」論など「戦争する国」づくりの大合唱が起こっています。

ロシア国内では国民の反戦運動とメディアへの弾圧が吹き荒れていますが、戦争を遂行する上で国民への人権弾圧は権力の常套手段です。「治安維持法等の弾圧法規は戦争を推進するための恐怖政治の法的武器であった。」(1997年・日弁連)

日本でも「戦争法」に基づき「反戦デモ」をテロとみなし自衛隊が弾圧訓練を実施していることが報道されています。「戦争する国づくり」とセットになっている特定秘密保護法、共謀罪法、戦争法、土地利用規制法、さらに個人情報を政府が一括管理するデジタル庁設置など、名前・装いを変えた治安維持法体制復活の危険性が進行しています。

戦争か平和か、戦後最大の岐路に立っている今、国賠同盟は「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」旗を掲げ、自公・維新・国民の改憲勢力3分の2議席を阻止するため全力をあげます。

「戦争する国」づくりを進める勢力は、侵略戦争も治安維持法による弾圧も正当化し、その誤りを認めよ

うとしません。侵略戦争に反対し国民主権の社会をつくろうとして弾圧された治安維持法犠牲者たちの『闘いと抵抗の歴史』に光をあて、「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」運動の柱にすることは国賠同盟の使命です。（第40回全国大会）

三、21年度の活動報告と活動方針

1 治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を要求する活動

（1）国会請願署名活動

全国を牽引してきた国会請願署名は、前年度より3，000筆少ない4，000筆余（1万筆目標の42％）の到達という県同盟結成当時の水準に落ち込みました。その中で、東置賜支部は目標の87％・570筆、鶴岡田川支部は83％・1千筆を達成することができました。

団体署名は181筆（500目標の36％）の到達。鶴岡田川支部は支部目標の80％、山形、米沢、西村山、北村山の各支部は50％を超えました。

5月11日の国会請願行動には、瀬野県本部事務局長と菊池喜英さんが参加し、舟山康江、芳賀道也、岩渕友の各参院議員と高橋千鶴子衆院議員に署名を託し、紹介議員承諾を要請しました。

再び、県民人口（105万人）の1％―個人署名1万筆、団体署名500筆の目標をめざして取り組みます。全会員による署名運動参加がカギです。そのために、県本部、支部とも、「同盟の存在・署名運動の意義」について繰り返し学習することが重要です。

（2）地方議会への請願活動

2017年の小国町請願採択以来、活動が途絶えました。再度この活動の意義を学習し、請願提出の自治体を決め、県本部と支部が連携して挑戦します。

2 会員拡大運動の現状と強化

県同盟は会員の死亡、施設入所・高齢などでの退会数を克服できず、前年比13人減、全国大会比28人減、目標比65人減となっており（4／1現在）、全国2万人同盟建設運動に応えることができずにいます。特に、県同盟の会員拡大の課題は、会員の高齢化が加速しているなかで、組織の存続をかけて若い人たちの拡大が求められていることです。

①6月の全国大会までに全支部で会員を増員し、大会比28人を必ず回復させ、引き続き400人達成に挑戦します。②映画「わが青春つきるとも―伊藤千代子の生涯」上映運動と結んで、鑑賞者へ「入会のしおり」を渡します。③新庄最上支部の再建に力を尽くします。

3 治安維持法犠牲者を顕彰する活動

（1）「学習し行動する同盟」へ

―国賠同盟の運動を国民的運動へ発展させるには会員一人ひとりが治安維持法弾圧の本質、正しい歴史認識と同盟運動の基本をしっかり身につけることが必要です。（第40回全国大会）。県本部、支部ともに、学習を基本に活動する習慣を身につけ、運動を質的にも前進させましょう。特に、『治安維持法と現代』の普及・

用に努めます。

（2）治安維持法犠牲者の名簿の作成と顕彰する活動

「山形県治安維持法等犠牲者名簿」の改訂版編集委員会を定期的に開催し、22年度中の完成をめざし資料収集・学習会・編集作業を行っています。

現在存命の治安維持法犠牲者は全国的にも一桁、山形県は遠藤祝さん一人、近年中一人もいなくなる時がきます。国賠同盟は、治安維持法犠牲者たちの「闘いと抵抗の歴史」・体験を語り継ぐという他の民主団体にはない独自の任務を持っています。今後とも歴史を風化させないために調査活動、顕彰活動、語り部活動を進めます。

今年は県内の民主教育運動や母親運動に大きく貢献し、治安維持法やレッド・パージでの弾圧を受けた村山俊太郎とひでの「顕彰碑」建設が行われます。建設募金活動に協力し、記念行事に参加します。

（3）映画「わが青春つきるとも―伊藤千代子の生涯」の上映会を全県で成功させ、同盟運動の仲間を増やそう。

県全体として、製作資金として73万1千円を集め、1口10万円の「上映債権」を5口得ています。5月28日の山形上映会（村山地区実行委員会）をスタートに、置賜、鶴岡、酒田、北村山の各地区での上映会を成功させましょう。この映画は、治安維持法下、社会と政治の変革のため身を投じた女性の「闘いと抵抗の歴史」を描いたもので、同盟運動への理解を広げる絶好の機会です。鑑賞者に「入会申込書」を配布し入会を訴えましょう。

4月30日、県連絡会・村山地区実行委員会は原作者・藤田廣登氏の講演会を開催し40名が参加しました。この映画を成功させるカギは「伊藤千代子について」「今何故千代子か？」の学習会を実施し、上映会の意義をつかみ「入場整理券」普及の担い手を増やすことです。

（4）レッド・パージ事件の学習と被害者との連帯

レッド・パージ団体が進めているドキュメント映画「証言　レッド・パージ」の製作募金として会員一人300円を目安に取り組み、県本部として10万円を募金しました。また、レッド・パージ被害者に対する国家賠償を求める署名に取り組みました。

レッド・パージは戦後最大の人権侵害です。治安維持法国賠同盟山形県支部（本部）を結成した清野高堂〈初代会長〉・村山ひで・鈴木善治の各氏や三代目会長・逸見光雄氏等はレッド・パージの被害者です。レッド・パージの歴史の学習を深め、被害者の名誉回復と補償を要求するたたかいに連帯します。

4 機関紙「不屈」の充実

月1回の「不屈」の発行は同盟活動を継続・発展させていく上で不可欠です。引き続き、編集体制を改善し、「会員みんなでつくる『不屈』」をめざして、県常任理事会で記事の検討、原稿募集等を行います。

鶴岡田川支部は月1回支部版「不

屈」を発行しています。各支部とも発行に努力します。

5 女性部活動の充実を

コロナ禍の中、女性部の「総会・つどい」は中止、役員会の開催となりました。学習会を基本とした活動が求められています。22年6月に三年振りで開催された県母親大会（オンラインも入れて）には実行委員として活動しました。

コロナ禍のため延期になっていた「第31回全国女性交流集会」は11月6・7日、熱海市で開催されます。3名を目標に派遣します。

6 8・15宣伝行動

8・15全国統一行動では山形、鶴岡田川、天童、米沢の各支部が街頭宣伝を実施（米沢は宣伝カーで）、17名参加。他支部は中央本部作成のチラシ（北村山、酒田支部は署名用紙入りのチラシを作成）を「しんぶん赤旗」に合計5，221枚折り込みました。地域の実情に応じて、工夫をこらしての宣伝活動、署名活動を充実させましょう。

また、12・8太平洋戦争開始記念日に民主団体と共同で「赤紙」宣伝行動にも取り組みます。

7 東北ブロック交流集会

第30回東北ブロック交流集会・福島集会は2年連続中止となりました。今年の集会に関しては今後のコロナ状況、各県本部の状況などを検討し、ブロック担当者会議で決めます。

8 友好団体との共同

21年衆院挙では、会員の政党支持の自由、選挙活動の自由を保障しつつ、「同盟要求実現」の選挙と位置づけ、市民と野党の共同候補を推薦し、決起集会を開き、「為書き」を送り支持拡大にも力を尽くしました。しかし、参院選で反共分断が持ち込まれ、護憲・立憲主義に立脚した共同候補を推薦できませんでした。治安維持法犠牲者への謝罪と賠償（「国家賠償法」の制定）を実現するために、は「市民と野党の共同」による政権交代こそ確かな道です。今後とも、「市民と野党の共同」を前進させる一翼として奮闘し、憲法改悪反対、安保法（戦争法）廃止、共謀罪をはじめとする治安立法の廃止等に全力で闘います。

また、メーデー、2・11集会、憲法9条を守る運動、核廃絶運動、中国強制連行問題等、友好団体と連帯し、平和と民主主義を前進させるためにたたかいます。

9 財政活動

今年度も会費の年度内未納支部が出ています。改善されつつありますが、引き続き努力する必要があります。「財政健全化」をめざし、会費は第1期9月まで第2期12月末まで、また年末募金は12月末まで納入を完了するようにします。

むすび

今年は県同盟結成30周年の年、先人たちの同盟結成の志を引き継ぎ、「2020年代に治安維持法問題に決着をつける」ためにも、量的にも質的にも強力な県同盟建設に奮闘しましょう。

三　規約改正案

理事会と常任理事会の任務、大会・理事会・常任理事会の開催等に関して、第五条、第七条、第八条、第十一条、第十三条を左記のように改正する。【】内は改正案

第五条　大会は、県本部の最高決定機関で、全国大会をうけて、毎年5月【6月末まで】に開催し、…

第七条　理事会は、大会の決定に従い、次期大会までの間、必要な方針を決める。【大会に次ぐ決議機関であり、年1回以上開催する。】理事会は、…、原則隔月に開催し【削除】会長が招集する。

第八条　常任理事会は大会及び理事会の決定に従い会務を執行処理する。常任理事会は会長、副会長、事務局長、事務局次長、常任理事で構成し、原則隔月開催し、【原則月1回開催し】会長が招集する。

第十一条　県本部は次の諸帳簿を備えておく。

①大会決議、役員名簿、会議録、会計関係資料、【会員名簿】※追加

第十三条　県本部に次の役員をおく。役員の任期はすべて一年とし、再選をさまたげない。ただし、役員に事故あるときは理事会において補充をはかることができる。【常任理事会においてその補充をはかり理事会に報告する。】補充役員の任期は前任者の残任期間とする。

映画「わが青春つきるとも－伊藤千代子の生涯」の感想（一部紹介）

映画のポスター

▼人生をかけて理不尽さと闘った千代子さんの存在をこの機会に知れてよかったです。まだ世の中にあふれている理不尽さを解決するために立ち上がらなければならないと思った。（20～30代）

▼あの時代の空気の中で、あたりまえの人間の幸せの為に学び、行動し、信念を貫いた千代子さんの生き様に心から打たれました。今、その時代に近い状況が見え隠れする中、しっかり見て、考え続けなければならないですね。あの女優さんすばらしいですね。本当に力ある人です。（60～70代）

▼藤田廣登氏の原作本、ワタナベ・コウ氏のコミック版2冊を読んで、そのあとこの映画を初めて観たが、書物のもつ力と映像のもつ別の力を改めて認識した。ウクライナ戦争や香港の現状を目の当たりにし、権力に異を唱えることがいかに難しいかを実感せざるを得ないが、千代子の短い生涯はそのまま現在に通じていることを知り、よくぞこの映画を作ってくれたと感謝したい。一人でも多くの国民がこの映画を観てほしいと願う。（60～70代）

▼知らないことを知ることは平和のためにはとても重要。今のロシアのプーチンにも通じるように思えました。もっと若い人達に観てもらえるよう大学や高校生に無料券を配布したらどうでしょうか。（60～70代）

▼この時代、こんな昔に女性の権利のため闘った女性たちがいたこと知らなかった。この映画を観てこういう時代にならないようにしなければならないと痛感し

た。（40～50代）

▼千代子さんの生き様、特に不屈の気概に深く感動しました。権力側の圧力、特に拷問はきわめて印象的に描かれ、老いた身には大変きびしく、きつく感じました。（60～70代）

▼すばらしい映画をありがとうございました。理論を学びしっかりした思想のもとで社会変革のために、まっすぐに生涯を貫いた生き方に感動しました。明るさ、力強さが伝わってきました。現在の主権在民等あたりまえのように感じているものの重みを改めて考えさせられました。（60～70代）

▼映像の伊藤千代子の不屈の明るさに励まされました。治安維持法、特高の幻影は顕在化して、今日も生き続けていること への告発の映像です。

映像に誇張がなく、ていねいに描いていると感じました。畑田重夫先生から手紙をいただき藤田さん宛にちょっぴり製作資金をカンパしました。（60～70代）

▼思想を持ち続けることは大切だが、命を失ってはもともこうもないのではないか。若くして命をなくし大変残念。生きていれば戦後社会にどんなに役立ったか、残念に思う。（40～50代）

▼日本共産党の百年の反戦平和・国民主権・民主主義の伝統をそして改めて先人の血のにじむ努力と闘いを学ぶことができました。この伝統を今日に生かし、たたかいを発展させる新たな決意を固めることができました。ありがとうございます。（60～70代）

▼命をかけるほどの思想とはどんなものか知りたいと思った。多くの理想を抱き、不屈の精神で犠牲となった人たちの上に今の日本があるのだと、改めて守りたいと思った。役者さんたちが素晴らしかった。（40～50代）

▼百年前、日本は現在のロシアと同じだった。戦争反対さえ主張できない時代だった。戦争反対、男女平等、格差をなくせ、と声を上げる事さえ命がけであった。そんな中で、声をあげて闘った若い女性達がいたことは、ただただ敬服します。現在の日本も、マスコミは真実を伝えない、声を上げると捕まるなど、戦前の日本に近付いていることを感じます。（60～70代）

▼伊藤千代子が民衆と社会のために一生懸命に学び、たたかったことがよくわかりました。特高の残酷な弾圧にも負けずに意思を貫き、仲間と共に闘い続けたすばらしい人ということがわかりました。病んで倒れことは残念です。伊藤千代子たちの遺志と歴史を引きついで私たちはたたかっていきたいと思います。（60～70代）

「わが青春つきるとも」を見て

千代子・多喜二の不屈の信念　武田洋子

同胞よ

春待つ日千代子の不屈永遠にあれ　高橋節子

狂いても千代子の清し青時雨　鳥羽しま子

ジェンダー平等夏雲のごと千代子　細川房子

一途

千代子映画見てフラワーデモの　瀬野　史

バラ赤し